

## 資料

### 群馬県におけるアカアシカツオドリの観察記録

高橋尚汰<sup>1</sup>・深井宣男<sup>2\*</sup>・石塚 徹<sup>3</sup>

<sup>1</sup>群馬県立吾妻中央高等学校 : 〒377-0424 群馬県吾妻郡中之条町1303

<sup>2</sup>日本野鳥の会群馬 : 〒370-0046 群馬県高崎市江木町980 新井ビル2F

\* (jotaka5b78159n@gmail.com)

<sup>3</sup>万座しぜん情報館 : 〒377-1528 群馬県吾妻郡嬭恋村千俣2401 万座温泉

キーワード : アカアシカツオドリ, *Sula sula*, 群馬県

### An immature Red-footed Booby observed in Gunma Prefecture

TAKAHASHI Shota<sup>1</sup>, FUKAI Norio<sup>2\*</sup> and ISHIZUKA Toru<sup>3</sup>

<sup>1</sup>Gunma Prefectural Agatsuma Central High School: 1303 Nakanajo, Agatsuma, Gunma 377-0424, Japan

<sup>2</sup>Gunma Branch of Wild Bird Society of Japan, Arai Building 2nd floor: 980 Egi, Takasaki, Gunma 370-0046, Japan

\* (jotaka5b78159n@gmail.com)

<sup>3</sup>Manza Nature Center: 2401 Hoshimata, Tsumagoi, Agatsuma, Gunma 377-1528, Japan

**Abstract:** An immature Red-footed Booby *Sula sula* was observed on 4th July 2021 in Naganohara. This is the 2nd record of Red-footed Booby in Gunma Prefecture.

**Key Words:** Red-footed Booby, *Sula sula*, Gunma Prefecture

#### はじめに

アカアシカツオドリ *Sula sula* は、太平洋、インド洋及び大西洋の熱帯から亜熱帯域に広く分布し、島嶼で繁殖する (日本鳥学会, 2012)。非繁殖期にも繁殖地の周辺やその沖合に留まることが多く (中村・中村, 1995)、日本では北海道から沖縄県八重山諸島までの広い範囲で観察記録があるが、その大部分は偶発的な迷行である (日本鳥学会, 2012)。群馬県では2004年9月7日に太田市で1羽が保護された記録があるのみである (日本野鳥の会群馬, 2020)。筆者のひとり高橋は、2021年に長野原町で本種の若鳥1羽を観察・撮影した。これが群馬県における本種の2例目の記録であると考えられるので報告する。

#### 観察記録および考察

2021年7月4日13:00頃、群馬県吾妻郡長野原町林にある八ッ場あがつま湖 (ダム湖) にかかる不動大橋の中央付近で、道路上にうづくまる本種の若鳥1羽を発見した。交通事故にあう可能性があったため警察に通報したところ、長野原署の警察官がこの個体を車道から歩道へ移動した。道路上で発見した時は嘴を背の羽にうずめるようにしていた

が、移動の際には翼をばたつかせた。多少なりとも動けたので、橋の上から飛び去ることを期待してそのまま帰宅した。5時間後の同日18:00頃に高橋の家族が同所を訪れたときには姿を確認できなかった。

この個体は、大きな体と、鼻孔がなく目の周囲まで裸出している円錐形の大きな嘴から、一見してカツオドリの仲間であり、白色の体に黒い風切、明瞭に赤い足からアカアシカツオドリと同定された (図1)。頭部はやや黄色味を帯びた白色、腹は白色、背は白色で褐色の斑があり、翼は雨覆が白色で風切は黒色、脚は赤みの強いピンク色、嘴は青灰色で先端近くは黒っぽく、口角部分はややピンク色がかって見えた (図1)。尾羽全体の色は撮影した画像からは判別できなかったが、細く伸びた中央尾羽は白色であった。

本種の成鳥には多様な羽色型が記載されており、白色型、褐色型、白尾褐色型の3型とされることが多いが (たとえば Nelson et al., 2005)、さらに黒尾白色型、金頭白色型、白頭白尾褐色型を認める場合もある (Carboneras, 1992)。ここでは前者にしたがい、3型として扱う。今回の個体は背に褐色斑があることから完全な成鳥ではないが、頭部がやや黄色味がかかった白色であり、腹部と雨覆、中央尾羽が白色であることから、白色型の若鳥であると考えられた。



図1. 観察されたアカアシカツオドリの若鳥。黄色味を帯びた白色の頭部，白色の腹部と雨覆，赤色の足が特徴的。  
Fig. 1. An immature of Red-footed Booby. Yellowish-White head, white body and red feet are characteristic.

2004年に太田市で保護された個体は，嘴全体がピンク色で，背や雨覆には褐色の幼羽が多数残っていたことから（日本野鳥の会群馬，2012）全身幼羽の幼鳥に近い若鳥（1回目の換羽サイクル；生後6か月－14か月）と考えられるが，今回の個体はより成鳥に近い羽色を持った若鳥（2回目の換羽サイクル；生後14か月以降）と考えられた（田野井，2020）。

2004年の個体が保護された9月7日には，太平洋上を西進した台風18号が九州北部に上陸し，山陰地方から日本海を通して，翌8日に北海道西部に到達した（気象庁，online）。台風の進路の東側に当たる群馬県のうち，保護地の太田市に最寄りの伊勢崎の観測地点では，15時から23時にかけて平均風速6 m/秒以上の南東からの風が絶えず吹いていたため（気象庁，online），この影響を受けて内陸に迷行した可能性が考えられた。一方，今回の個体が記録された2021年7月4日には日本周辺に台風や発達した低気圧はなく，観察地に最寄りの中之条の観測地点では，当日の平均風速は常時2.7 m/秒以下であり（気象庁，online），この個体が内陸に飛来した原因は不明である。

## 謝辞

本個体を交通事故から守るため，群馬県警長野原署の警察官の方に対応していただいた。匿名の査読者の方には有益なコメントをいただいた。記して感謝申し上げる。

## 引用文献

- Carboneras, C. (1992) : Family Sulidae (Gannets and Boobies). *In* Handbook of the Birds of the World, Vol. 1 (eds. J. del Hoyo, A. Elliot & J. Sargatal), p. 312-325. Lynx Edicions, Barcelona.
- 気象庁 (online) : 各種データ・資料. <https://www.jma.go.jp/jma/menu/menureport.html> (閲覧日2023. 07. 25)
- 中村登流・中村雅彦 (1995) : 原色日本野鳥生態図鑑<水鳥編>. 保育社，大阪，304pp.
- Nelson, J. B., J. Busby, A. Mackay & B. Teunis. (2005) : Pelicans, cormorants, and their relatives the Pelecaniformes. Oxford University Press, Oxford, 680pp.
- 日本鳥学会 (2012) : 日本鳥類目録 改訂第7版. 日本鳥学会，三田，438pp.
- 日本野鳥の会群馬 (2014) : 群馬県鳥類目録2012. 日本野鳥の会群馬，高崎，274pp.
- 日本野鳥の会群馬 (2020) : 群馬県鳥類目録 改訂版. 日本野鳥の会群馬，高崎，94pp.
- 田野井博之 (2020) : Young Gunsの野鳥ラボ Season II #64アカアシカツオドリの羽色型と年齢の識別. BIRDER, 34 (7) : 48-51.